



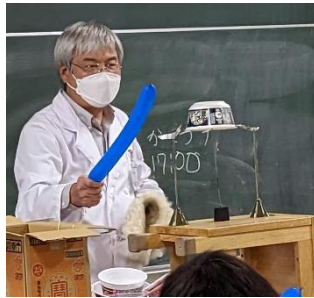
2学期の科学センターはベーシック・アドバンス両コースあわせて8講座行いました。ロボットプログラミングコースは宇宙エレベーターロボット競技会で学習の成果を発表しました。

科学センター



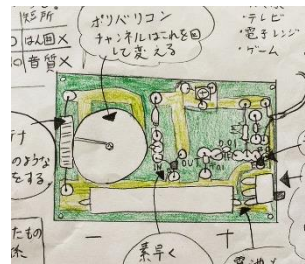
科学センター 1年目の5・6年生 ベーシックコース

- 9月 身近な酸とアルカリ
- 10月 はんだ付け電子工作 光センサーライト
- 11月 不思議な静電気の実験
- 12月 東大 CAST サイエンスミュージアム



科学センター 2年目の6年生 アドバンスコース

- 9月① 動物のからだ 解剖実験
② 海の生態系とちりめんモンスター
- 10月 電波・無線とラジオ製作
- 11月 楽しい電気・磁気の世界



ロボットプログラミングコース

チームを組んで宇宙エレベーターロボットを組み立て、プログラミングを考え、機体を軽量化させるなどの改良を繰り返して行ないました。
12月3日には宇宙エレベーターロボット競技会立川大会を開催して学習した成果を発表しました。



科学センター 2月の閉講式の記念講演は「最後の授業」です

講師の岩元美智彦さん(日本環境設計株式会社(現:JEPLAN)創業者・取締役執行役員会長)は、学生の頃、映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」に登場するゴミを燃料に動く車型のタイムマシンに感動したことが原点となり、起業し、資源を何度も活用することができる新しいリサイクル技術を開発し事業をすすめています。

このリサイクルを行うことで、資源を奪い合うことのない世の中、戦争が起きない平和な世の中を子どもたちに残したい!という高い理想を持って仕事をされています。それはどんな技術なのか?閉講式でお話していただきます。

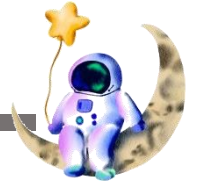
SDGs 時代のみなさんに向けて、今後、科学・技術はどう利用したらよいか、何のためにあるのかということを考える「最後の授業」にふさわしい講演になると思います。お楽しみに。



裏面もあります

宇宙エレベーターロボット競技会 立川大会 開催しました

令和4年12月3日実施



上方に設置した宇宙ステーションを模した基地に、物資（ピンポン球）をいかに多く運ぶかを競い合います。科学センター10チーム、新生小から2チーム、39名の児童が出場し、技を競い合いました。



物資を入れるかごの大きさや形、途中で物資が落下しないように機体を安定させる工夫など、チームで話し合いながら何度も改良や調整を重ねました。

来賓の方々、家族の皆さまが見守る中、学習の成果を発表することができました。

チームインタビューでは工夫したところや、機体の特徴、思い出や意気込みを話してくれました。



～科学センター卒業生の活躍～

毎回の練習時には準備片付けの他、困っている児童のサポートを積極的に行ってくれました。大会では競技の審判や会場設営や片付け、高度なロボットのデモンストレーションなど、卒業生サポートチームの活躍のおかげで大会が素晴らしいものとなりました。



～表彰～

- 第一位 「新生が優勝」(新生小)
- 第二位 「N²4 program」(四小、西砂小)
- 第三位 「新生ファイターズ」(新生小)
- デザイン賞「トセヤ」(四小、五小、若葉台小)

【主催】

立川市立小学校科学教育センター

【共催】

NPO法人 立川教育振興会

【協力】

株式会社 立飛ホールディングス

株式会社 ナリカ

立川サイエンスひとネット

卒業生サポートチーム